

取付・施工説明書

お客様保管用

スタイリッシュキャップ

このたびは、当社商品をご採用いただきまして、誠にありがとうございます。この商品を安全に正しく施工していただくため、この「取付・施工説明書」をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。

安全のために必ずお守りください

ここに示した注意事項は安全に関する最も重要な内容です。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解して本文をお読みください。また、本説明書および当社カタログに記載されている内容に反する施工やご使用はしないでください。

安全記号



警告

●取り扱いを誤った場合、使用者が死亡もしくは重傷を負う可能性がある危険度が「高い」内容を示しています。



注意

●取り扱いを誤った場合、使用者が中、軽傷を負う可能性がある内容、または物的損害の可能性があり危険度が「中、軽い」内容を示しています。

一般記号



ポイント

●組み立て、施工手順で、特に注意して作業を進める必要がある内容を示しています。
●注意して守っていただかないと、組み立て、施工が困難、あるいは強度不足のため、施工後不具合が発生する可能性がある内容を示しています。

組立・施工の前に



警告

●お様が踏み台として使用し、転落事故につながる場所への設置は絶対にしてしないでください。



注意

- 安全を確保するため、組み立て、施工は必ず専門の業者が行ってください。
- 組み立て、施工は正しく行わないと危険です。組み立て、施工前に必ず本説明書をお読みください。
- 商品を正しく施工するためには、必ず本説明書に従ってください。
- 部品梱包明細で必要な部材、部品がすべて揃っているか確かめてから、組み立ててください。
- 誤った使用を避けるため、組み立て、施工終了後、必ず本説明書は施主様にお渡しして、取り扱いの注意について説明してください。
- 防犯上、不審者が踏み台として使用し、侵入が容易になるような場所への設置はしないでください。
- 組み立て、施工時、コンクリート(またはモルタル)には、塩分を含む砂(海砂)や、コンクリート用湿和剤(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など)で塩素系や強アルカリ系の場合は、絶対使用しないでください。使用すると、金属部分が腐食し、破損、倒壊の可能性があり危険です。
- 給湯、暖房機などの排気熱が直接商品に当たると被膜の劣化、はくりにつながりますので、熱の影響のない場所を確認してください。
- 給湯、暖房機などの熱排気が商品で妨げられ建物内部にこもったり、適切な換気ができなくなるような場所に設置しないでください。
- 設置場所に正しく施工でき、不具合なく使用することができることを確認してください。

- 通路など、通行の妨げになる場所へは施工しないでください。
- 構造物、建築物の屋根などからの雪の落下を受けない位置に設置してください。
- 振動、衝撃のある場所へは、施工しないでください。商品の破損、倒壊につながります。
- 常に水や温水に触れたり水没する場所、また温泉やそれに類する水質に触れたり水没したりする場所への設置はしないでください。

組立・施工上のご注意



注意

- 組み立て、施工場所の整理整頓、適切な安全確保を行ってください。高所作業での転落、工具、部品の落下や倒壊の防止、暗所作業時の照度の確保などを必ず行ってください。
- 適切な作業服および保護具(保護帽、安全帯、その他作業者身体の保護具)を正しく使用してください。
- 工具、器具、保護具などの安全機能を十分確認し不具合のあるものは使用しないでください。
- 必ず本説明書に従って、施工してください。正しい順序で施工されなかった場合には、商品の強度など性能が低下するほか破損、倒壊につながる場合があります。
- 組み立て、施工用のプラグ、ネジ等は規定本数(当社指定純正品)を確実に締め付け、固定してください。
- アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触することがないように注意してください。
- 商品が、腐食する可能性のある接着剤や溶剤などの化学薬品に、接することがないように注意してください。

組立・施工上のご注意

⚠ 注意

- 商品の改造は絶対にしないでください。
商品の性能が落ち、強度不足による破損、倒壊の可能性があり危険です。
- 組み立て、施工中は、商品にキズがつかないように十分に注意してください。
- 商品にバリがある場合は取り除いてください。
特に切り詰めなど現場加工の場合は必ず行ってください。
- 組み立て、施工時に、雨水がたまらないように十分注意してください。
- 雨水等の進入防止のために、必要な箇所には必ずコーキングをしてください。
- 組み立て、施工終了後は、必ず商品が正しく組み立てられているか確認してください。特にプラグ、ネジ等にゆるみがないか確認してください。
- 組み立て、施工終了後は、施工時の汚れをきれいに取り除いてください。

使用上のご注意

⚠ 注意

- アルミ製品の表面にキズが付いたり、塗装はがれが生じると、商品の腐食や強度低下の原因になりますので、十分に注意して取り扱ってください。
- 商品の切り口に切断時のバリが残っている場合や、現場加工にともないささくれが発生する場合があります。手などにケガをしないように、取り扱いには十分注意してください。
- アルミ製品は、高温になる場所では他の金属材料に比べて熱による変形が生じやすい材料です。商品の近くで火気を使用しないでください。
- 無理な荷重をかけないでください。商品の上で飛んだり、跳ねたりしないでください。局部的に重い物をのせたり、立てかけたり、ぶらさげたりしないでください。ぶらさがったり、乗ったり、寄りかかったり、体重をかけたりしないでください。ボールなど投げつけたりしないでください。強い衝撃、荷重を与えると破損、倒壊事故の原因となります。
- 安全性の高い材料を使用しておりますが健康を害する恐れがありますので、小さなお子様やペットがなめたり、かじったりしないようにご注意ください。
- 商品を改造したり、穴をあけたり、本商品以外の取り付けは避けてください。商品の性能が低下する可能性があります。
- お子様の遊具、踏み台、ふとんや洗濯物を干す等、目的以外の使用は絶対にしないでください。
- 商品が破損したり、グラグラした場合は、すぐに施工店に連絡してください。破損したままで使用していると事故の原因となり危険です。
- 積雪のある地域では、必要に応じて早期に除雪してください。

メンテナンスのご注意

アルミはスチールなどに比べ、サビに強く、維持費のかからない素材です。しかし、表面に付着した汚れを長期間放置しておくこと腐食の原因になることがあります。軽い汚れだとぞうきんなどで軽くふくだけで十分。また、年に数回の定期的な水洗いによって、素材の美しさを保つことができます。

◆汚れの程度と掃除方法

内容	用具	方法
軽い汚れの場合	柔らかい布 スポンジ 水	柔らかい布、スポンジで水ぶきした後、からぶきしてください。
ひどい汚れの場合	柔らかい布 中性洗剤	中性洗剤を薄めた液で汚れを落とし、洗剤が残らないように水洗いしてください。その後、からぶきしてください。

◆お手入れのご注意

- お手入れには布やスポンジなどの柔らかいものを使用してください。
- 金属ブラシ、金ペラ、スチールウール、目のあらい紙ヤスリなどは使用しないでください。
- 小石、砂などが付着したままこすると、アルミ表面にキズが付きます。あらかじめ取り除いてください。
- アルコール、ベンジン、アセトンなどの有機溶剤や石油類などは使用しないでください。
- シンナーや塩素系の溶剤などは使用しないでください。
- 小さなキズでも早めに補修されることをおすすめします。補修材は別途ご用意しております。
- 汚れをとる際に、研磨剤入りのクレンザー等は本体表面にキズを付ける恐れがあるため、使用しないでください。

廃棄について

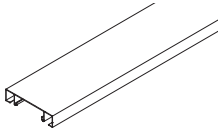
ご不要になった商品、また現場で発生しました残材等につきましては、産業廃棄物になりますので、各地域の条例等に従って正しく処分してください。

部品の確認



※組立・施工前に、商品に同封されている
「スタイリッシュキャップ部品梱包明細」をご覧ください。

スタイリッシュキャップ 部品梱包明細



◆笠置本体

内容				
名称	姿図	数量	カラー	入り数
笠置本体		1枚	カラー	入り数
			DP	枚
			NW	枚
			ST	枚

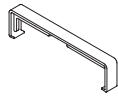
◆笠置ベース

セット内容				
名称	姿図	数量	カラー	入り数
笠置ベース		1ヶ	ST	セット
偏心プラグ φ6×30		4本		


◆エンドキャップ

セット内容				
名称	姿図	数量	カラー	入り数
エンドキャップ		2ヶ	カラー	入り数
			DP	セット
			NW	セット
ネジ φ4		4本	ST	セット

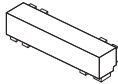
◆連結ジョイント

内容				
名称	姿図	数量	カラー	入り数
連結ジョイント		1ヶ	カラー	入り数
			DP	ヶ
			NW	ヶ
			ST	ヶ

◆90°コーナーパーツ

内容				
名称	姿図	数量	カラー	入り数
90°コーナーパーツ		1ヶ	カラー	入り数
			DP	ヶ
			NW	ヶ
			ST	ヶ

◆垂直コーナーパーツ

内容				
名称	姿図	数量	カラー	入り数
垂直コーナーパーツ		1ヶ	カラー	入り数
			DP	ヶ
			NW	ヶ
			ST	ヶ

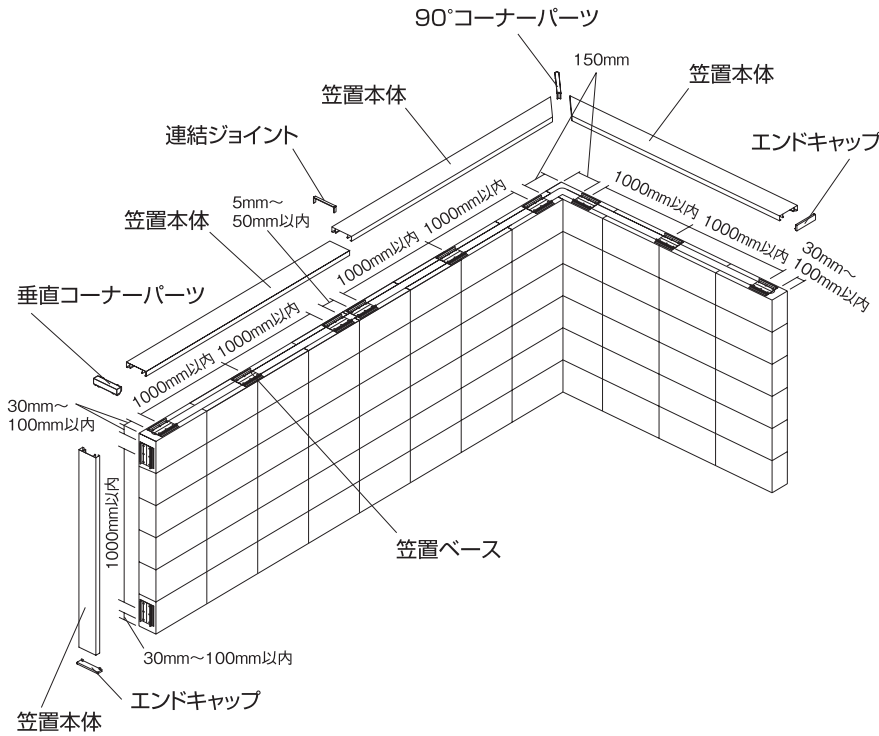
※入り数の欄に表記されている部品が入っております。内容、数量をお確かめの上、ご使用ください。

※カラー表記の説明

DP：ダークパイン NW：ナチュラルウッド ST：ステンカラー

組立・施工

スタイリッシュキャップ配置図



⚠️ ご注意

- ブロック塀の天端部（鉄筋溝）はモルタルを充填し、平らに仕上げてください。
- スタイリッシュキャップを垂直に取り付ける場合、コーナー面が平らなブロックを使用してください。またはコーナー部に基本型ブロックを使用し、側面の鉄筋溝をモルタルで埋め、平らに仕上げてください。
- スタイリッシュキャップの取り付けは、ブロック塀天端のモルタルが十分な強度を持ってから（推奨：ブロック施工後4日～7日程度経過）行ってください。
- ブロック塀は設計規準に従って正しく施工してください。鉄筋が正しい位置に配置されていないと、笠置ベース取り付けの際、ブロック塀内の鉄筋に干渉して下穴があげられない場合があります。

笠置ベースの取り付け

① 下穴の位置を決めます

下穴をあける位置をマーキングします。（図①）

※笠置ベースの取り付けは規定の間隔を守り、笠置ベースと笠置ベースをまっすぐに配置してください。

② 下穴をあけます

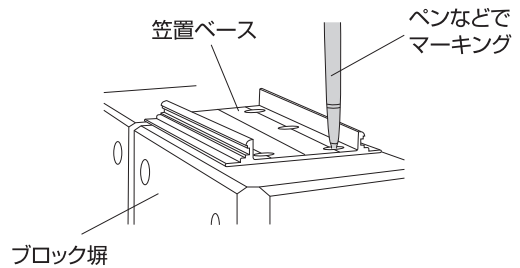
マーキング位置にφ6の深さ30mm程度の下穴をあけ、穴の中の粉を取り除きます。（図②）

※下穴の位置はブロック塀内の鉄筋（縦筋、横筋等）に干渉しないように注意してください。

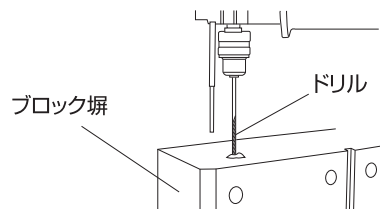
③ 笠置ベースを固定します

下穴と笠置ベースの穴の位置を合わせ、偏心プラグを打ち込み笠置ベースを固定します。（偏心プラグ打ち込み前に、穴の中にコンクリートボンドを少量流し込むことを推奨します）

図①

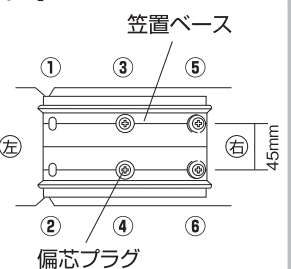


図②



💡 ポイント

通常は①②⑤⑥の穴に偏心プラグを打ち込みます。ブロック端部のみ③④の穴と端部側の2つの穴に偏心プラグを打ち込んでください。（右図はブロック右端部に固定した笠置ベース）



組立・施工

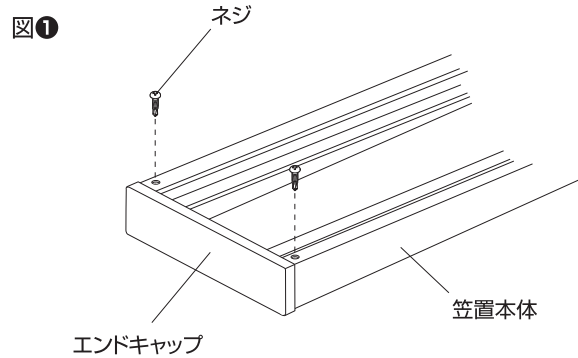
エンドキャップの取り付け

笠置本体にネジで取り付けます

エンドキャップを笠置本体の裏側から、ネジで固定します。

(図①)

※あらかじめ仮穴をあけておくと、施工が簡単です。



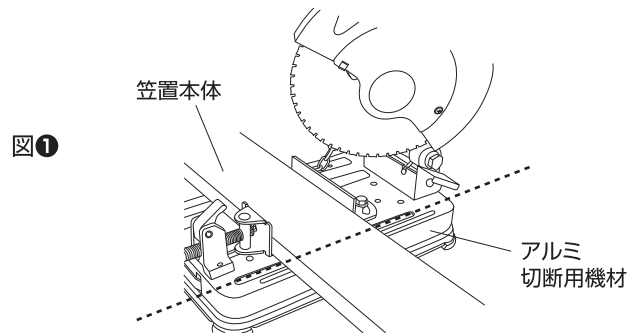
笠置本体の取り付け

① 必要な長さにカットします

施工するブロックの長さを測り、必要な長さにカットします。

(図①)

※カットにはアルミ切断用の機材をご使用ください。



② 笠置本体を笠置ベースに噛み込ませます

エンドキャップを取り付けた笠置本体を、笠置ベースに噛み込

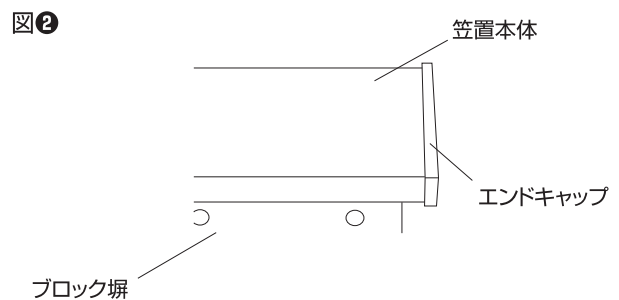
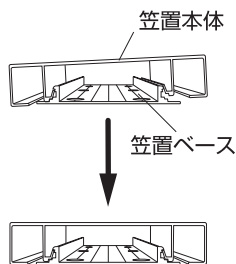
むまで押さえつけます。(図②)

⚠️ ご注意

笠置切断時にバリが出た場合は、ヤスリ等を用いて必ず取り除いてください。施工の妨げになる場合があります。

💡 ポイント

先に片側の笠置本体と笠置ベースを噛み込ませておいてから、もう一方を押さえつけます。うまく噛み込まない場合は、所定の位置に笠置本体がきているかを確認し、ゴムハンマーで上から軽くたたいてください。



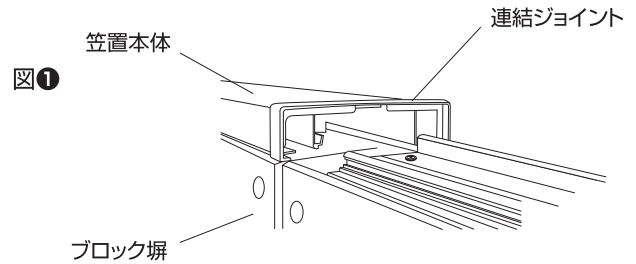
組立・施工

連結ジョイントの取り付け

連結ジョイントに笠置本体を片側3~5mmずつ差し込んで施工します。

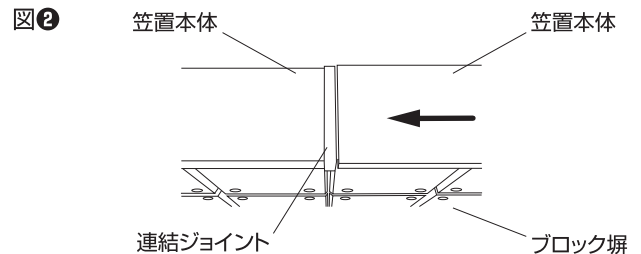
① 一方の笠置本体をブロックに施工します

連結ジョイントに連結する一方の笠置本体を差し込んで、笠置ベースに施工します。(図①)



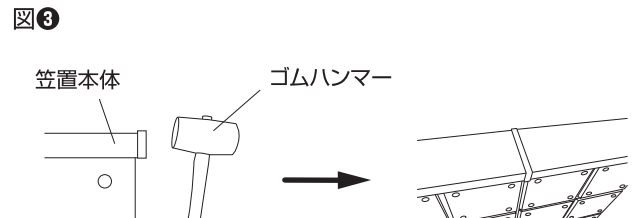
② もう一方の笠置本体を手前に取り付けます

もう一方の笠置本体を連結ジョイントの手前の位置に取り付けます。(図②)



③ ゴムハンマーで軽くたたきます

②で取り付けした笠置本体の端部をゴムハンマーで軽くたたいて、連結ジョイントに差し込みます。(図③)



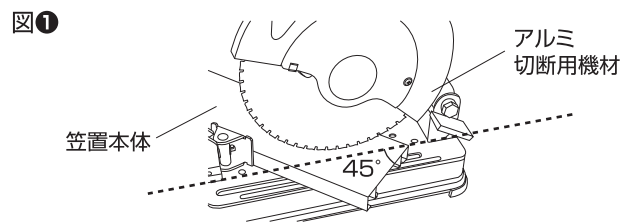
組立・施工

90°コーナーパーツの取り付け

ブロックのコーナー部が90°の場合のみに対応します。
90°コーナーパーツに笠置本体を片側3~5mmずつ差し込んで施工します。

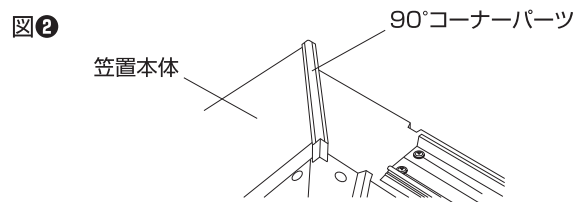
① 笠置本体の端部をカットします

笠置本体の端部を45度にカットします。(図①)
※カットにはアルミ切断用の機材をご使用ください。



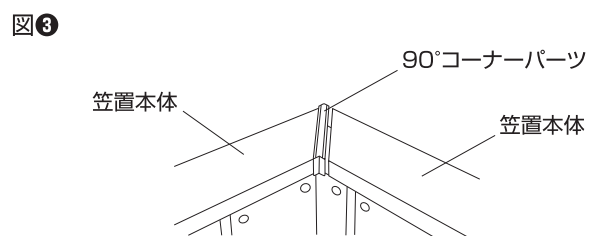
② 一方の笠置本体をブロックに施工します

90°コーナーパーツを取り付けた一方の笠置本体をブロックに施工します。(図②)



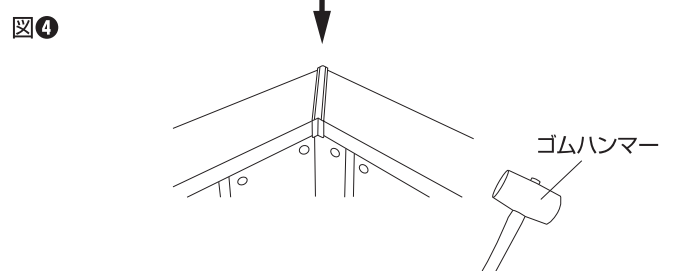
③ もう一方の笠置本体を手前に取り付けます

もう一方の笠置本体を90°コーナーパーツの手前の位置に取り付けます。(図③)



④ ゴムハンマーで軽くたたきます

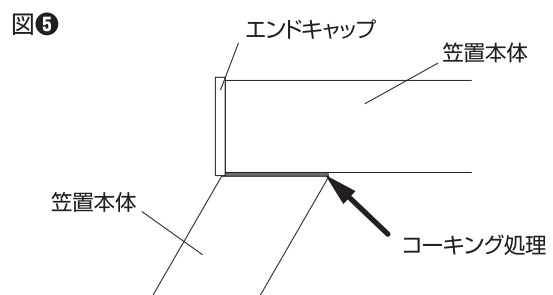
③で取り付けした笠置本体の端部をゴムハンマーで軽くたたいて、90°コーナーパーツに差し込みます。(図④)



90°以外のコーナーの施工について

90°以外のコーナーの取り付けには、コーキング処理を施してください。(図⑤)

※図⑤はブロックのコーナー部が120°の場合のコーキング処理例です。



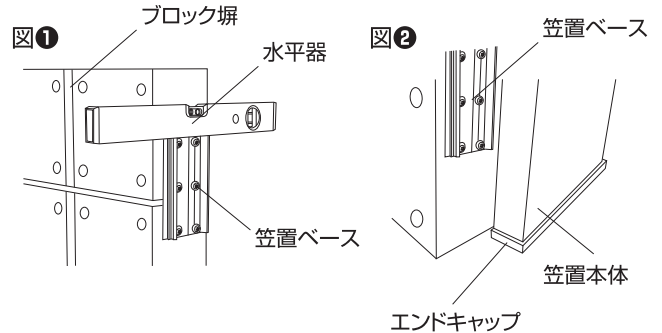
組立・施工

垂直コーナパーツの取り付け

垂直コーナパーツに笠置本体を片側3~5mmずつ差し込んで施工します。

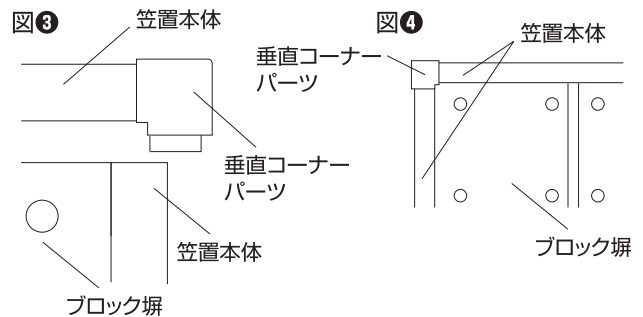
① 笠置ベースを取り付けます

ブロックのコーナー面に笠置ベースを取り付けます。(図①)



② 笠置本体を取り付けます

ブロックコーナー面に、エンドキャップを取り付けた笠置本体を取り付けます。(図②)



③ 垂直コーナパーツを取り付けます

ブロック天端に設置する笠置本体に垂直コーナパーツを取り付けます。(図③)

④ 位置を合わせます

垂直方向に取り付けた笠置本体に垂直コーナパーツの位置を合わせて施工します。(図④)

⚠️ ご注意

- 笠置本体の垂直施工がある場合は、先に垂直に配置する笠置本体から取り付けてください。
- 下図のようにブロックを笠置で囲むように施工する場合も、先に垂直に配置する笠置本体を両サイドに取り付けてください。また、ブロック天端に配置する笠置本体に連結ジョイントを使用する場合は、あらかじめ一体化させておいてから、各パーツの笠置本体を差し込む箇所のクリアランスを利用して、ブロック両サイドに取り付けた笠置本体との位置調整を行い、取り付けてください。

